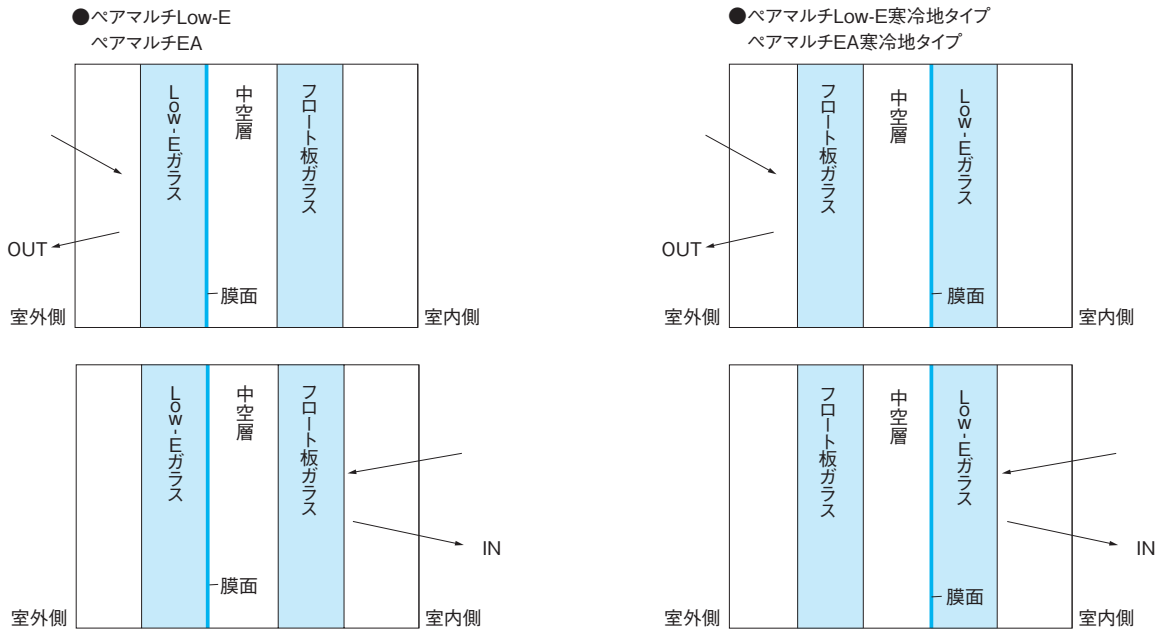
板ガラスの光学的性能・熱的性能

データ算出のための諸条件

1 光学的性能値は垂直入射(入射角0°)の値です。
2 可視光特性はJIS R 3106:2019に基づきCIEで定める標準の光D65を光源として明順応比視感度より求めた値です。(可視光の波長範囲:380～780nm)
3 日射特性はJIS R 3106:2019に基づき日射の標準スペクトル分布を用いて求めた値です。
4 反射率OUTは室外側、反射率INは室内側の値です。
5 複層ガラスおよび、合わせガラスは表の構成品種左側に示したガラスを室外側とします。
6 「ペアマルチLow-E寒冷地タイプ」「ペアマルチEA寒冷地タイプ」「ペアマルチスーパー」「セキュオペア高断熱タイプ」はLow-Eガラスを室内側とし、Low-E膜面を中空層側とします(下図参照)。
「ペアマルチLow-E」「ペアマルチEA」「ペアマルチレイボーグ」「スクールペアエコEA」「セキュオペア遮熱高断熱タイプ」はLow-Eガラスを室外側とし、Low-E膜面を中空層側とします(下図参照)。
7 紫外線透過率はISO 9050:2003に基づいて求めた値です。
8 熱貫流率はJIS R 3107:2019に基づいて求めた値です。
熱貫流率とは室外側の周囲空気温度と室内側の周囲空気温度との差1℃当たり、そのガラスの中央部を貫流する熱流束をいい、値が小さいほど断熱性能に優れ、ISOに従ってU値とも呼ばれています。
• U値　W/(㎡·K)
9 日射熱取得率はJIS R 3106:2019に基づいて求めた値です。日射熱取得率とは窓ガラス面に垂直に入射する日射について、構成ガラスに吸収されて室内へ伝達される熱流と日射透過率を加えたものをいい、値が大きいほど日射を取り込むことができ、値が小さいほど日射を遮蔽することができます。
10 遮蔽係数は3ミリの厚さのフロート板ガラス(透明)の日射熱取得率を1とした場合の日射熱取得率の相対値です。
11 真空ガラスの真空層の熱コンダクタンスは、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)に準じます。
12 本表の数値は、光学的および熱的性能を示す一般的数値であり、各製品の性能を保証するものではありません。

反射率のOUT-IN